

教えてもらった話

～私たちが大切なことだと感じたこと～

Vol 7

ご自由にお持ち帰りください。



安心・快適そしてワクワク

株式会社 くるま生活

耳無し船長、太平洋を渡る その一

中途失聴者 石川 雅敏(福山市)

「前書き」

これは両耳の聴力を失い、かすかに機能する片耳に補聴器をはめた素人船長（私）が、コンプレックスを克服し、自分に自信を取り戻す為、そして、神に自分の存在の是非を問う為の生死を掛けた、手作りヨットでの太平洋横断航海記です。

出航に際して、心で神さんをお願いした。

俺がこの世の中で不要なら、太平洋のど真ん中で、ヨットもろとも沈めて下さい。もし、生きていく価値が有ると思うなら、無事にアメリカへ到着させてください。いつかお呼びが有るまで、世のため人のため、自分の為に真っ当に生きて行きます。

当時のある新聞に、福山市の立石市長が一文を寄せてくれていた。「人々は、少年の頃の夢を、大人になるに従って、往々にして忘れてしまう。ある一人の青年が訪ねてきた。ヨットで太平洋を横断してサンフランシスコへ行く。しかも、手作りのコンクリートヨットだと言う。用件は、向こうの市長宛にメッセージを書いてくれないか・・・との事だった。この福山にもこん

な青年が居るのか・・・と驚きもしたが、大いに賛同してメッセージとミニ琴を託した。」

「八十四日目のアメリカ大陸」

「サンフランシスコだ～～！。あれがゴールデンゲートブリッジだ～～。 お袋、ついにやったぞ～～！」

故郷から五千マイル、およそ一万キロの手作りヨットの航海が終わった。生かされて、無事にサンフランシスコへ辿り着いた。少年の頃抱いた夢、周囲の人々から大法螺吹きと揶揄され続けた夢を達成したのだ。この時、神さんからメッセージが届いていた。

「あんたは、この世で生きていく価値がある。しっかりせえよ」感動した。泣けて泣けて泣けて、大粒の感涙が頬を伝って落ちた。雨風、潮風にも弱点をさらけ出す補聴器を片耳につけての大航海だった。

六月八日に福山市鞆の浦を出帆してから、八十四日に及ぶ長すぎる新婚旅行でもあった。仕事の独立と夢の実現を追い続けてから、十年と八十四日の気の遠くなるような長い旅だった。一九七五年八月末。地元では、広島カープが初優勝に向けて快

進撃を続けている最中だった。

「暗雲の時代・スポーツアクシデント」

この日から遡ること十五年。人生の方向を大きく変えるアクシデントは起こった。「健全なる精神は、健全なる肉体に宿る」と言う。

私は、高校に入学してから、柔道部に所属して、練習に励んだ。その練習中にアクシデントは起こった。大勢の部員同士が二人一組で技の掛け合い練習をしていた。私の組が寝技の練習体制にあった時、他の組の人の足の踝が、自分の左耳を直撃した。

「ぎゃ～～～～、う～ん～～～、痛た～～～～～い」

左耳を押さえて、断末魔の叫び声を上げて七転八倒。畳の上を転げ回った。

数ヶ月後、心なしか耳の聞こえが悪くなっているよう気がした。岡山の大学病院で診察を受けたら、左耳の鼓膜の後ろにある耳小骨の折損が判明した。

「左耳は、手術をしても、これ以上良くもならなければ悪くもならないでしょう。しかし、このままにしておくと、骨折箇所

に肉が盛り、脳を圧迫して危険です。手術は、地元の耳鼻科でも構わないですよ」と言われて、安易に地元福山市の我が家の近隣の病院を選んだ。これが運命の分かれ道となった。

入院中、手術した左耳はともかく、まったく正常だった右耳の聴力の低下が気がかりだった。入院中、見舞いに来てくれた人との会話は、補聴器代わりに録音機を置き、それに繋いだマイクとイヤフォンでやっていた。やがて医療ミス、麻酔ミスの可能性は秘匿されたまま退院した。

翌年の春、高校を卒業する頃には、左の耳機能停止。かすかに機能する右耳だけが音に頼る情報の唯一の出入り口となった。しかも、補聴器着用が必要不可欠の条件となった。

ある日、人が訪ねてきて、補聴器というものを薦めた。藁にもすがる気持ちで買った。これが或る人との付き合いの始まりでもあり、私の補聴器の歴史の始まりでもあった。余談だが、この補聴器屋さんは、松山善三監督の「泣きながら笑う日」で坂本九が演じた主人公のモデルになった人だった。全国に先駆けて、保育所から中学校までの一貫した難聴教育を実施した福山市に、子供を連れて大阪から引っ越してきたと聞いた。現在

と比較すれば、劣悪な補聴器だが、頼らざるを得ないものなので、耳鳴り、雑音、全周の音を拾う指向性の無さ・等々の悪条件をクリアしながら、慣れる苦労は並大抵のものではなかった。

「夢 夢 夢」

少年の頃、誰でもが夢を見る。私は、一生に一度は日本を離れて、諸外国へ行ってみたいと、漠然とだが夢を持っていた。特に、中学の美術の時間に学んだゴーギャンの作品「タヒチの女」には心惹かれた。下半身にラバラバと言う腰巻を纏い、上半身は乳房を覆う一片の布切れも無い南海の楽園タヒチ島の半裸の娘。一度この目で見てみたい、逢ってみたい、願わくばモデルにして自分も絵を描いてみたい・・・と焦点の定まらない夢を見ていた。当時は1ドルが三百六十円（現在は百円前後）の固定相場制だったし、何しろ発展途上国に脱皮しかけの貧乏国の日本。渡航許可も厳しく、持ち出し外貨は五百ドル以下。大金が必要な海外旅行なんて、容易に出来るものでは無かった。しかし、出来ないとなれば、やりたくなる。反骨の精神は衰えず、まして実社会の怖さを知らない少年の夢は、膨れるばかりであった。あまり本は読まなかったが、洋画は字幕があるので、

夢中になって観た。

ヨットの出てくる映画「太陽がいっぱい」は、地中海、豪華ヨット、水着の美人。大いに憧れたが所詮は絵に描いた餅。テーマ音楽は、うら悲しくて、青春の焦燥感を煽った。



****言葉の使い方****

あたりまえ」を「ありがとう」と言うのが感謝

「だから、なに？」を「おめでとう」と言うのが賞賛

「もう、ダメだ」を「これからだ」と言うのが希望

「なりたいな」を「なってやる」と言うのが決意

「もういいや」を「まだ待とう」と言うのが忍耐

「疲れた」を「頑張った」と言うのが努力

言葉は

幸せを

不幸を

成功を

失敗を

明るさを

暗さを

愛を

憎しみを

言葉は良い事も、悪い事も発する言葉の表れ！

【トイレの落書き】

とある7階建てビルの企業がありました。各階に社員用のトイレがあるのですが落書きをする社員がおりトイレはいつも落書きで汚されていました。社長は社員達に落書きをしないよう注意しますが効果はありません。そのうちに社長も諦めてしまいました。

ところが、それでも諦めない人がいました。それはトイレ掃除のおばさんです。おばさんは小さな紙にある「お願い状」

を書きそれをすべてのトイレの入り口に貼りました。するとなんと「紙」を貼った日から 一切の落書きが消え去ったのです！

その報告を受け 驚いた社長が「 一体どうやったのか？ 」と思ひ社員用トイレを見にいくと入り口に小さな紙が貼られておりこう書かれていました

「 ここは私の大切な職場です。この職場を落書きで汚さないで下さい！！ 」

おばさんはこう話しました。「 トイレ掃除はたいした仕事ではないと思ったらたいした「 仕事 」では無くなります。でも、トイレ掃除は 私のとても大切な仕事なのだと思えば 素晴らしい重要な仕事になります 」

社長はそのとき初めて気付かされました。「 仕事は肩書きじゃない。与えられた役割・仕事をどんな姿勢でやっているか、そういう心がけが大切なんだ。思いを変えることによって職場を変える事ができるのだ 」と

3K(危険・汚い・キツイ)という言葉があります。本人が3Kと思ったらそこは3Kの職場になります。しかし... 私にとって

「ここが大切な職場なんだ」と思ったなら...どんな職場だって素晴らしい仕事場になるのです。

要は自分の心がけを変えることが出来る強さを持っているかどうかの「問題」なのです。

出典：「心ゆたかに生きる」講話：「林覚乗さん」

【成長】

乳児はしっかり 肌を離すな

幼児は肌を離せ 手を離すな

少年は手を離せ 目を離すな

青年は目を離せ 心を離すな

小学生は暗くなる前に帰りなさい。

中学生は暗くなったら帰りなさい。

高校生は日付が変わる前に帰りなさい。

大学生は盆と正月くらいは帰りなさい。

大学院生は帰れる家があることに感謝しなさい。

社会人になったら、子どもが安心して帰ってこれるような家を、今度は自分がつくれるようにしなさい。

はっとする言葉

(リトルミイ)

1. 何とかなる。それはやることをちゃんとやってる人のセリフ
2. 時々誰かに言われた言葉がチクッて刺さってイラッてするときあるじゃない。それね、本当のこと言われてるからよ
3. 忙しい忙しいって言う人いるじゃない。きっと頑張っているわねって褒めてほしいのよ。だからこう言ってあげたほうがいいわ。時間の使い方が下手ねって。
4. あなたね、決断力がないんじゃないくて、決断する方法をしらないだけよ。あのね。いい方を選ぶんじゃないくて、あなたが思う方を選ぶの。最初はいろいろ失敗するわよ。あなたバカなんだから。でもそのうち自然といい方を選ぶようになっていくわよ。最初からうまくやろうなんて、自惚れてるんじゃないわよ。
5. 逆よ。全く逆よ。自分と向き合うにはひとりになるんじゃないわ。いろんな人と関わりあうのよ。お友達とおままごとし

ろって言っているんじゃないの。自分の知らない自分を知らない人たちと関わりあうのよ。見えてくるわよ。本当の自分が。

6. あなたの夢を、そんなこと無理だっていう人いるでしょ。こう言い返してやりなさい。あなたには無理ね。でもわたしはできるの。あなたとわたしはちがうから、って。でも言ったからには夢をかなえなきゃいけないことも覚えておきなさいよ。でかい口たたくんだから。

7. 縛らないことよ。自分で自分を。わたしはかわいい、わたしはブス。わたしは賢い、わたしはダメ。わたしはモテる、わたしはモテない。あなた、自分をすぐ何かに決めつけようとするでしょ。本当の自分を見つけるのはもっとずっとずっと先の話。今することは、一生懸命迷うことよ。

8. そうね。明るくしているほうが楽しいわね。明るい人にとっては。けど、暗い人には疲れちゃうわよね。だからね。楽しくするってより、楽にする。なのよ。

9. みてるわよ。あなたがしていること。あのね、神様じゃないわよ。もうひとりのあなたがよ。もうひとりのあなたがあなたをみているのよ。見放されないようにね。嫌われないように

ね。

10. 迷わないことが強さじゃなくて、怖がらないことが強さじゃなくて、泣かないことが強さじゃなくて、本当の強さってどんなことがあっても前をむけることですよ。前をね。



ダライラマの言葉

家は大きくなったが、家族は減った。

どんどん便利になったが、余暇は減った。

学位は取ったが、感性は鈍った。

知識は増えたが、判断ができなくなった。

専門家が増えた分だけ、問題も増えた。

薬は増えたが、健康だと思える人は減った。

「正義で地球は救えない」より

【幸福になるには周りの人々を幸福にする】

人間は誰でも幸福になる権利があります。しかし、人を押し
のけたり、足を引っ張ったりして自分だけ幸福になろうとして
も、決して幸福にはなれない。

親は子を、子は親を幸福にする。

夫は妻を、妻は夫を幸福にする。

兄弟姉妹を幸福にする。

それから友人を、同僚を幸福にしていくと、いつのまにか幸
福な人たちの中にいる自分も幸福になっているのです。

オムロン創業者：立石一真氏

最後までお読みいただきまして

ありがとうございました。

ホンの少しですが、この冊子を手にとられたすべての人が心豊かになることを祈念しております。

株式会社くるま生活は幸福創造企業です。

私たちは人が幸福になるために必要な事は二つあると考えています。

①人に存在を認められる事

②素敵な想いが実現すること事

私たちとご縁がある方は勿論のこと、ご縁の無い方も幸福になるように
仕事させていただきます。(*^^)v

〒720-0961

広島県福山市明神町2丁目9-25

株式会社くるま生活

代表取締役社長 井上康一

TEL 084-943-7123

info@kurumaseikatsu.co.jp

第7回作成 2014年5月7日

コピー大歓迎。何部でもお届けします。